# 東京鐵工組合脫退に關して

□

七月五日友愛會東京聯合會第二回大會に於て東京鐵工組合及赤羽勞働聯合會選出代議員　名連袂退場に端を發し、一時大會は混亂の巷と化し遂に休會を宣するに至り、議長、東京聯合會主事法學士棚橋小虎氏辭任となつた、所謂鐵工組合退場問題!!

續いて七月七日東京鐵工組合赤羽勞働聯合會等が友愛會東京聯合會より正式に脫退した事件に關しては、新聞紙其他等にて種々傳へられつゝあるが眞相に遠く諸君の誤解を招き安きため、玆に簡單に其の眞相を發表し、正當なる諸賢の批判に待ちたいと思ふ。

## □本組合代議員出席理由

或る一面の觀察として「知識階級排斥の具體化」「棚橋理事の不人氣から」と言はれて居るが、元來本組合は成立當初に於て自主的運動を聲明し他の指導、指示といふ事に、あまりに頭を痛めなかつたから、假令指導者棚橋主事が近來急激に說を變へて階級調和的運動の宣傳を始めたとて、本組合としては俺く迄も階級鬪爭的運動の信念の下に戰を持續するだけで、別段の問題ともしなかつたのである、

然し棚橋小虎氏は法學士であり、指導者であり、聯合會主事であるが故に氏の言論行動に多數の人々が或る一種の賴りを持ち、氏の言に信することが多い、それは意識的でなく無意識的に、!!!

吾人は斯くの如き無意識的信念の强さが勞働運動全體に及す影響は可成り危險性を有するものであると思ふ、それは前進的勞働者をして保守的とし、鬪爭者をして協調主義者とし妥協に、利己に、營利者たらしめんとする彼等は有名な言葉「一步進んで二步去る」ものでなく「一寸進んで見て五年も去ろう」とするものである、

無意識者！　何故に！

それは偉い人の言を無條件で信じ、其の指すまゝに機械的に動くからだ、君達は不可思議に思はないだろうか、去年の七月と云へば、まだ一年の過去である、去年の七月二十九日神田青年會館で主事等が聲明した事を、!!「もう大組合もなんにも吾人はいらない、只やればいいんだ」そうして大阪の大會（去年の十月友愛會第八週年全國大會）では、どんな事をしたか、然るに今年の一月「勞働」紙上の「勞働組合へ歸れ」の一論文、續て當年初頭に於ける幹部總會毎に與へられた訓示（？）と、同時に彼等の行動はどうであつたか、

變說に改論に——吾人は驚かずには居られなかつた、

諸君よ、親愛なる勞働者諸君よ、

これが指導者といふものであつた、其の行動に於ても例へば足立事件に對する彼の態度!!　それは語る事さへ忍びない！

吾人は斯くの如き不可思議なる事象！

同一人に於ける二つの主張——階級鬪爭と階級調和と——そして之を「勞働組合主義」と稱して居る、——

本組合選出代議員は、此の「同一人の二つの主張」「鬪爭か調和か」の問題に對して質問をし討議し、將來の大方針を決定するの目的を以て出席したに過ぎないのであつた。

□

問題は單なる棚橋氏一個人の問題ではない、然るに棚橋氏は、この質問のあることを豫期したものと見へ、此の質問を出そうとする鐵工組合其他の少數者に對するに政友會のように多數を以て臨まんとした、多數者——とは主事の言を無條件に信じ其の唯一の擁護者として機械的に行動した者の事である、

そして彼等は此の重大な質問に——勞働運動として——恐れたものか、尠くともこの質問に共鳴する傾向を有する代議員の出席を拒止した、其の一端としては例の黑色勞働組合、家具工組合芝支部、聯合會直屬北千支部の代表者問題であるが、黑色の如き現在相當の會員を有するにも拘はらず過激團體なるが故に出席を認めずと、而も棚橋主事の獨斷を以て決定した、

本組合は棚橋氏の斯くの如き專橫なる態度を快とせず、のみならず東京聯合會發表の代議員選出方法なる規定に依れば最少一支部に至る迄一代表員を出席せしむることとなつて居るので當然黑色其他の出席を主張したのであつたが、大會當日は成る可く大會の議事を進行することを望んで居つたので當日早朝より棚橋氏の與黨とも目さるべき紡織勞働組合及電機機械鐵工組合の代表者と妥協を成立せしめ此の問題に關しては總務委員の手落ちとして黑色其他當然即時代表者を議場に送り議事を進むべしと（但し議場に於て形式的質問を發し委員附托說を提議し委員會にて解決すべしと妥協成立）約したにも拘らず議長の橫暴となり妥協の裏切りとなり遂に斯の混亂を引き起し、吾が鐵工組合赤羽勞働聯合會、代議員が旗を捲いて退場するに至つたのであつた。

重大な質問、所謂る勞働運動の方向、勞働者の團結の形態、勞働者の信條、等の問題等に關して一言の論議もしなかつた事は返す返すも殘念であつたが、あの場合どうする事も出來なかつたのである。

の議長は勞働者のような武田友太郎氏

働者にも拘らず、さすがは棚橋直系だ他の午前の問題に關して何等の交涉も業者も不出席なれば、勿論說明者もなく良かろうが惡かろうが沒却して仕方を責めた、同時に本組合其他の少數んだのであつた。

聯合會等は、永い永い年月、雨に雪に肥に軟かい繃帶をしてやつた、咽喉の事もあつたろう、そうして仲の好い友日曝された事だつたろう、

衆して東京聯合會から脫退することを

はといふに五日の大會に於て既に本組からであつた。

に出來ない樣な、又罷業を制御する樣多數で可決する樣な組合とは一緒にも會へは獨立自治團體として加盟して居組合の何たるかを知られたいと思ふの

ひるの件

すべし

鐵工組合

勞働聯合會